

## プログラムの内容・ご紹介

『からだで遊ぶ』をテーマに掲げて、2泊3日のサマーキャンプを開校します。人が多い都市を少しだけ離れ、いつもとは違う環境で演劇を創作する現場に集中する3日間！演劇という表現方法の中で「からだ」を動かすと、どんな違いや発見があるのでしょうか？言葉だけに頼らずに伝えることができるのでしょうか？また、舞台がどうやって創作されているのか、プロの創作現場が気になる、稽古はどういう風になっているの？などなど、じっくり体感してみたい方、そばで見たいという方、是非ご参加ください。

### ごあいさつ

福岡での演劇大学も今回で3年目を迎えます。今年は少し趣向を変えてのキャンプ地での開催、何か新しい息吹きを感じつつ期待しています。現地で中心になって動いて下さる皆さん、どうかよろしくお祈りします。

「演劇大学」、いつも、そくそくするような楽しい時間です。はじめは「大丈夫かなあ」と若干の不安を抱えて見ているうちに、先生方の熱心な、そして適切なアドバイスと、参加する皆さんのエネルギーが重なって、ラストはいつも万々歳でした。今年も、皆さん、力を合わせて、ラストのラストを美しく飾りましょう。楽しみにしています。(7月2日記す)



演劇大学 in 福岡 校長

瓜生正美 Uryu Masami

1924年、福岡県若松市に生まれる。1944年、学徒出陣で兵役に就く。戦後、新劇の草分け的存在である土方与志に師事。1964年、「秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場」を創立。以来1997年まで劇団の代表を務める。(社)日本劇団協議会会長、日本演出者協会理事長などを歴任。現、青年劇場、(社)日本劇団協議会顧問

## タイムスケジュール ※詳しいタイムスケジュールは、申込締切後に別途お知らせいたします。

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
8.31(金)						受付	開校式							
9.1(土)								ワークショップ						創作
9.2(日)									発表準備	発表会	シンポジウム	開校式		交流会

### 最終日は発表会あり！

寝食を共にして、演劇のことだけを考えながら創作する2泊3日。そんな濃密な作品を、最終日に上演します。劇場で観るものとは一味違う舞台を楽しんでみませんか？是非ご来場ください。終演後には、2泊3日を振り返るシンポジウムあり。創作における裏話などが聞けるかも？

※バスによる送迎予定あり。(詳細はお申込み時にご確認ください。)

9/2(日) 14:00~  
(無料・要予約)

※お席に限りがございますのでお早めにご予約ください。

### アクセス

・電車をご利用の場合

最寄駅：JR赤間駅

※当駅からバス、タクシー等の交通機関でお越しください。

・バスをご利用の場合

JR教育大前駅正面 西鉄バス赤間営業所発「直方バスセンター」行き(路線番号75)乗車

→「グローバルアリーナ」バス停下車(所要時間約12分)

西鉄バス直方バスセンター発「赤間営業所」行き(路線番号75)乗車

→「グローバルアリーナ」バス停下車(所要時間36分)



## 1. 地元演出家 × 講師とつくる

地元演出家が選んだ作品(上演時間30分程度)を、参加者のみなさんと共につくります。演出家へのアドバイザーとして各グループに講師がつきます。



講師：西沢栄治 Nishizawa Eiji

演出家。JAM SESSION主宰。演劇の面白さをまっすぐ描く心意気で、和洋の古典・近代戯曲の力強い表現をめざす。日本演出者協会主催 若手演出家コンクール2003、最優秀賞受賞。主な演出作品に、「女の平和」「わが町」「東海道四谷怪談」「間違いの喜劇」(以上、JAM SESSION)。椿組「椿版・天保十二年のシェイクスピア」「どん底」、フリーエール・プロデュース「七本の色鉛筆」ハイランド「牡丹燈籠」など。

地元演出家：小塩泰史 Koshio Yasushi (14+)

1974年生まれ、福岡県出身。14+(フォーティンプラス)所属。1999年より俳優として舞台を中心に活動を開始。2011年、ユニット sick36において、「ふるきをたずねて、新しきを知る」というコンセプトで“先人シリーズ”を手がける。「料理昇降機」(作：ハロルド・ピンター)、「ハムレット」(作：シェイクスピア)、「煙草の害について」(作：チェーホフ)を演出。



講師：羊屋白玉 Hitsujiya Shirotama

北海道出身。演出家、劇作家、俳優。「指輪ホテル」主宰。オルタナティブ空間を通して「劇場」そのものを考察し、出自がさまざまな女性パフォーマーのみで構成される作品群。これらを携えて、社会観や世界観、死生観のあり方を提示してきた。2001年、アジア・カルチュラル・カウンシルのフェローシップで、ニューヨークに留学。帰国後ヨーロッパ・北米・南米ツアーを実施。2006年、ニュースウィーク日本誌において「世界が認めた日本人女性100人」の一人に選ばれる。2008年、再びニューヨークに滞在し、作品を発表。現在、米国の劇作家との共同製作と瀬戸内トリエンナーレ2013への出品のため準備中。



地元演出家：中村雪絵 Nakamura Yukie (劇団ぎや。)

1985年生まれ。福岡県出身。2002年劇団ぎや。を結成。主宰・脚本・演出を担当。「芝居を通して小さな驚きを提供する」ことを信条とし、企画性の高い公演を行っている。作風は寓話的で、可愛らしくも隔々に孤独や悲しみを感じさせるのが特徴である。E-1グランプリ2006九州大会優勝、CoRich舞台芸術アワード!2007・全国第9位、FFAC企画創作コンペティションvol.11・観客賞。



## 2. アボリジニ演劇をつくる

アボリジニの演劇の最大の魅力は、観客に語りかける<ストーリー・テリング>を最も重視したことです。苛酷な歴史と現状に立ち向かうために、悲しいことを明るく、ユーモラスに、身振りを交えて描いています。(演出家 和田喜夫)

オーストラリアの先住民、アボリジニ演劇の出演者を募集します。また、創作現場を演出側から見てみたいという方には、お手伝いする演出部もあり。(上演時間30分程度)



講師：和田喜夫 Wada Yoshio

1951年山口県下関生まれ。早稲田大学在学中より演出を始める。文学座養成所を経て、1982年から11年間、劇作家・岸田理生との共同作業を続ける。92年オーストラリアのアデレード、パース国際演劇祭で「糸地獄」を上演し絶賛を得る。01年よりオーストラリアやカナダの先住民の劇作家との共同作業を始める。また「在日」の演劇人との共同作業も多い。代表作に「糸地獄」、「居留地姉妹」、「ウィンドミル・ベイビー」など。演劇企画集団 楽天団代表。日本演出者協会理事長。

## 3. からだのワークショップ

講師とともに、遊んでいるようにからだの感覚を使って、2時間程度のワークショップを行います。ワークショップ後は発表会など、演劇大学を1日で体験できるコースとなっております。どなたでも気軽にご参加ください。



講師：智春 Chiharu

チキキ\*パーク主宰。コンテンポラリーサーカス、ストリートアーティストのショー、競技大会の選手振り付けまでを手がける演出・振付・妄想家。マイム・クラウン・アクロバットを軸としたサーカス芸をベースに幅広い表現方法を学び、自身もフィジカルパフォーマーとして活動。若手演出家コンクールでの最優秀賞、観客賞、をはじめ国内外のフェスティバルに招聘され数々の賞を受賞。シルクドゥソレイユ登録アーティストでもある。

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
9.2(日)					受付	ワークショップ			発表会	シンポジウム	開校式	交流会

2泊3日の劇団体験をしたい方に  
オススメ!

◆募集内容◆  
一緒につくってくれる出演者：各5名程度

九州初のアボリジニ演劇体験を是非!

◆募集内容◆  
出演者：10名程度  
演出部：2~3名

1日体験ワークショップ!!

◆募集内容◆  
参加者：25名程度